



Portable DJ System **FJ1**

取り扱い上の注意事項は、
本機付属の取扱説明書をご覧ください。

取扱説明書（ユーザーズマニュアル）

はじめに

本書の見かた

- このたびは、ミュージナル製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機をご使用前に、本書および付属の「取扱説明書」を必ずお読みいただき、内容をご理解のうえで使用ください。
本機のご使用にあたってご理解いただくべき重要事項が含まれています。
- 本書で説明しているソフトウェアおよびハードウェアの仕様や外観は、予告なく変更される場合があります。そのため、本書の記載と実際の製品が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

本製品の特徴

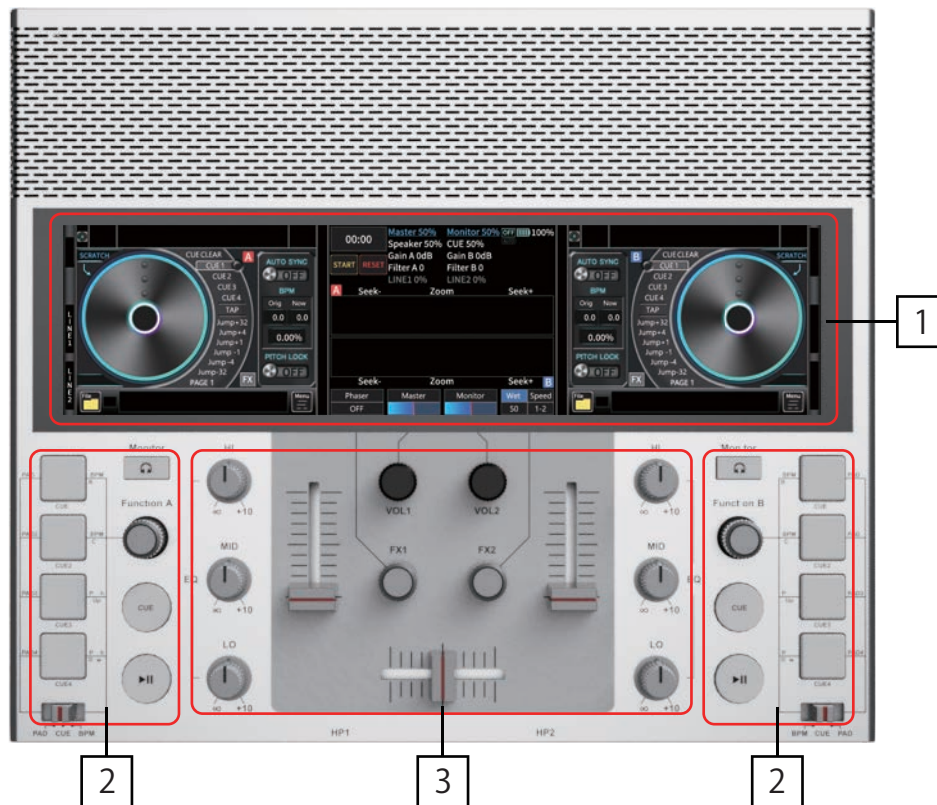
本機は、リチウムイオンバッテリー内蔵のポータブル DJ システムです。A4 サイズ相当のコンパクトな筐体に、2 チャンネルミキサー、ワイド液晶、各種エフェクトコントロールを搭載しており、場所を選ばず本格的な DJ プレイが可能です。内蔵スピーカーを備えているため、外部機器を接続せずに単体で演奏できます。コンパクトで高級感のあるデザインにより、持ち運びやすさと操作性を両立したオールインワン DJ システムです。

付属品を確認する

- PD45W 対応 USB Type-C ケーブル
- 取扱説明書兼保証書
- ハードケース

各部の名称

各部の名称

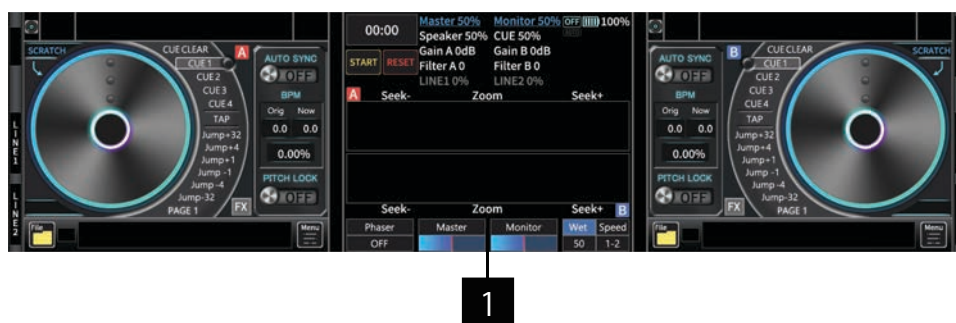


1 ブラウザー部

2 デッキ部

3 ミキサー部

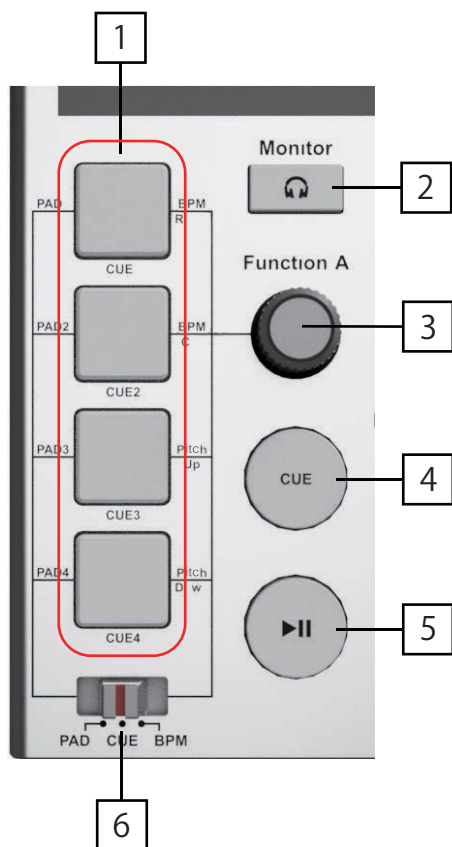
ブラウザー部



1 タッチパネル式液晶

→ タッチパネルを操作する (p.10)

デッキ部



1 パッドボタン

PAD / CUE / BPM 切り替えスイッチで選択された各機能を実行します。

2 ヘッドフォンモニターボタン

[Monitor] ボタンが押されているチャンネルの音声が、ヘッドフォンから出力されます。

3 ファンクションノブ

各画面で回転させると項目を選択し、押し込むと決定します。

4 CUE ボタン

曲のキューポイントを設定します。

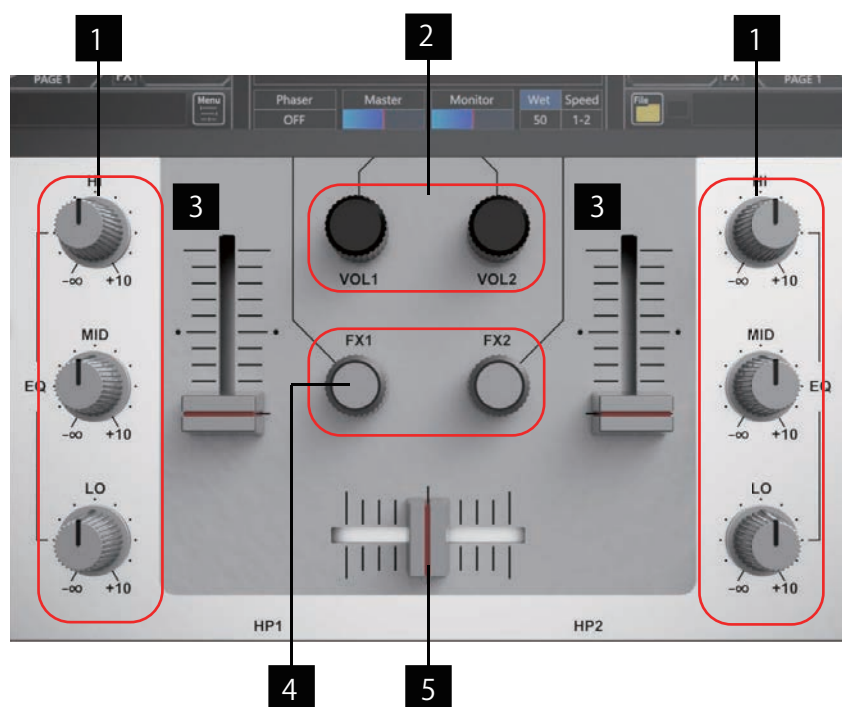
5 再生 / 停止ボタン

曲の再生と停止を行います。

6 PAD / CUE / BPM 切り替えスイッチ

各機能を切り替えます。

ミキサー部



1 EQ ノブ

各チャンネルの周波数域を調整します。

2 ボリュームノブ

各出力レベルを調整、もしくはパラメーターを調整します。

3 チャンネルフェーダー

各チャンネルの出力レベルを調整します。

4 FX ノブ

エフェクトのオン/オフと選択、パラメーターの調整を行います。

→ エフェクトを使う (p.)

5 クロスフェーダー

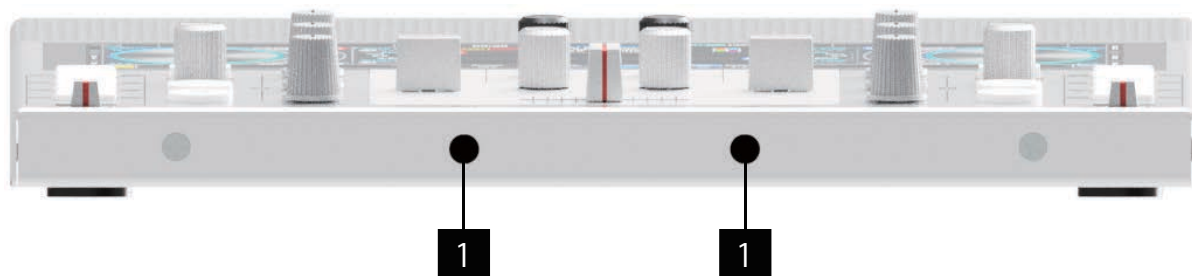
各チャンネルの出力レベルおよび、出力バランスを調整します。

本体背面部



- 1 ケンジントンロック装着用穴

本体前面部

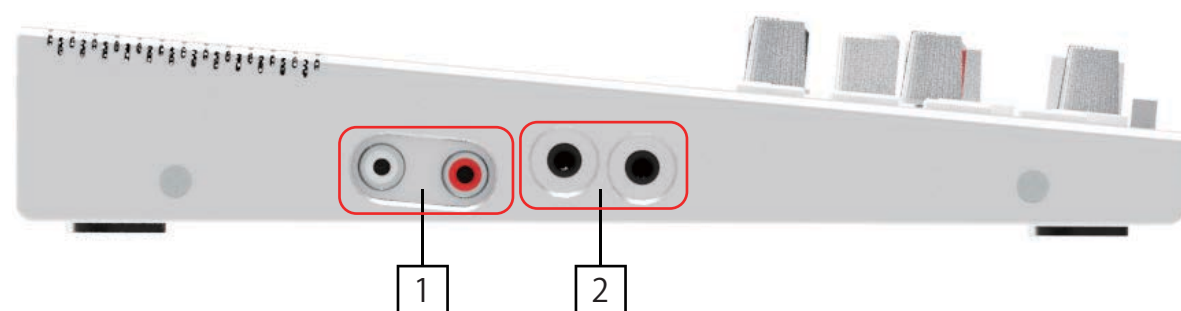


- 1 ヘッドフォン / LINE 出力端子

使用する出力の種類に応じて、本体メニューより切り替えてご使用ください。*

* FW ver.0.2.4 時点では、ヘッドフォン出力のみ対応しています。

本体左側面部



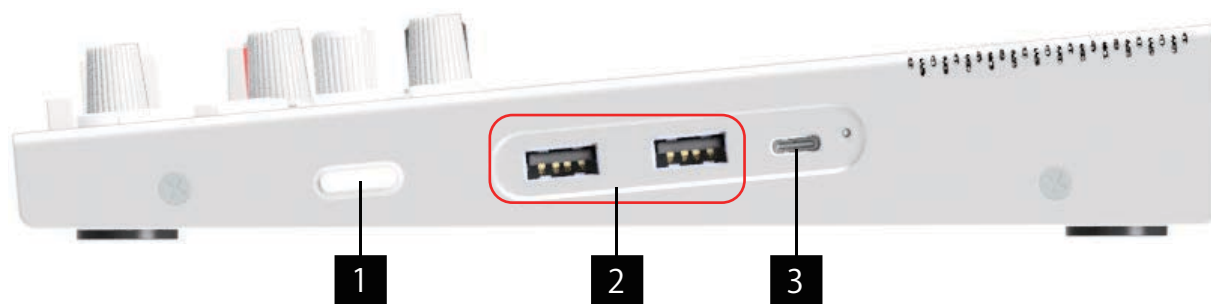
- 1 RCA 出力端子

- 2 LINE / MIC 入力端子

使用する入力の種類に応じて、本体メニューより切り替えてご使用ください。*

* FW ver.0.2.4 時点では、LINE入力のみ対応しています。

本体右側面部



1 電源ボタン

電源のオン / オフ / スリープを行います。

2 USB 端子（Type-A）

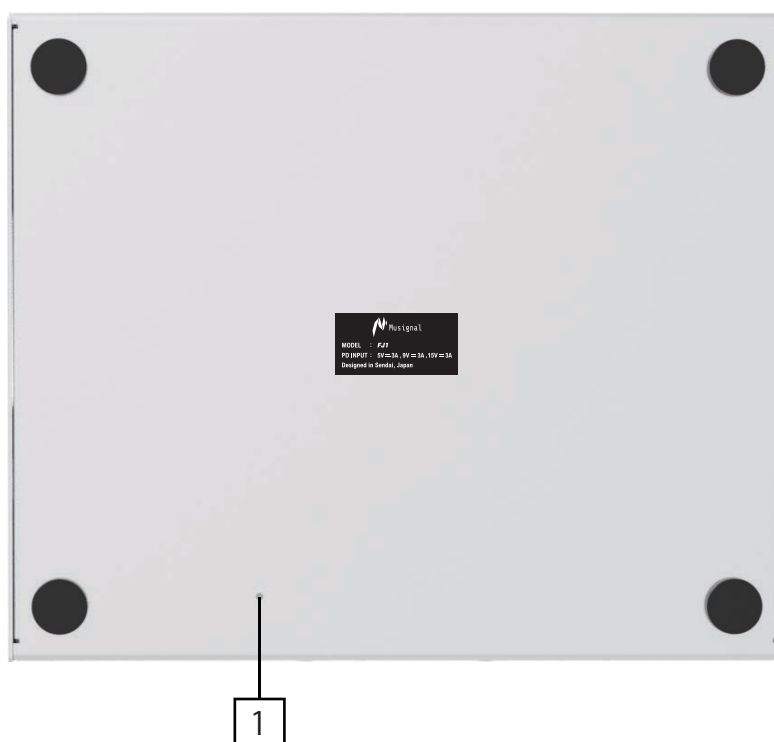
USB デバイスをセットします。

3 USB 端子（Type-C）

USB デバイスをセット、もしくは本機へ給電を行います。*

* FW ver.0.2.4 時点では、本機への給電のみ対応しています

本体底面部

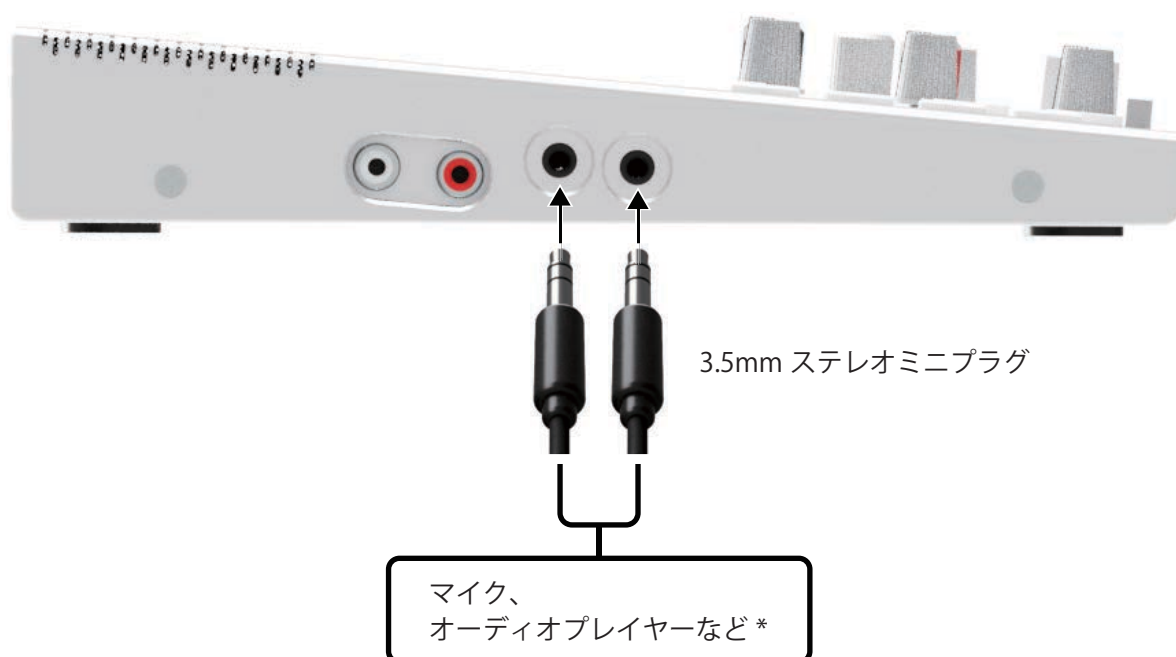


1 リセットボタン

操作する（基本操作）

入力端子に接続する

本体左側面部接続例

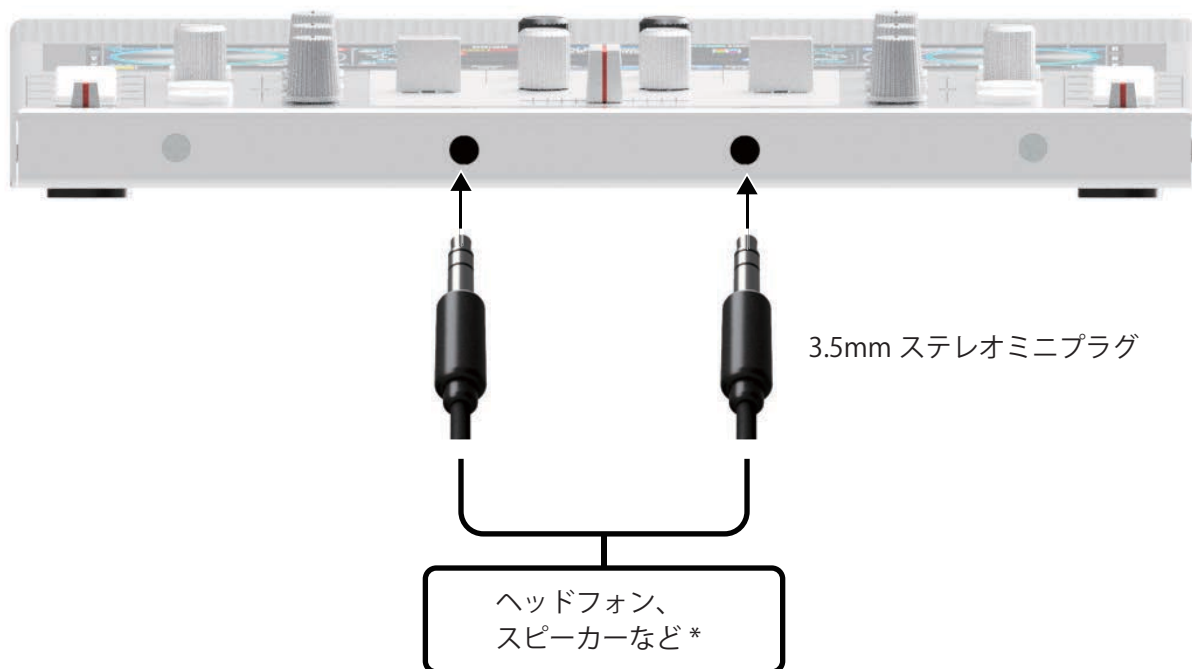


* 使用する入力の種類に応じて、本体メニューより LINE / MIC を切り替えてご使用ください。

* FW ver.0.2.4 時点では、LINE入力のみ対応しています。

出力端子に接続する

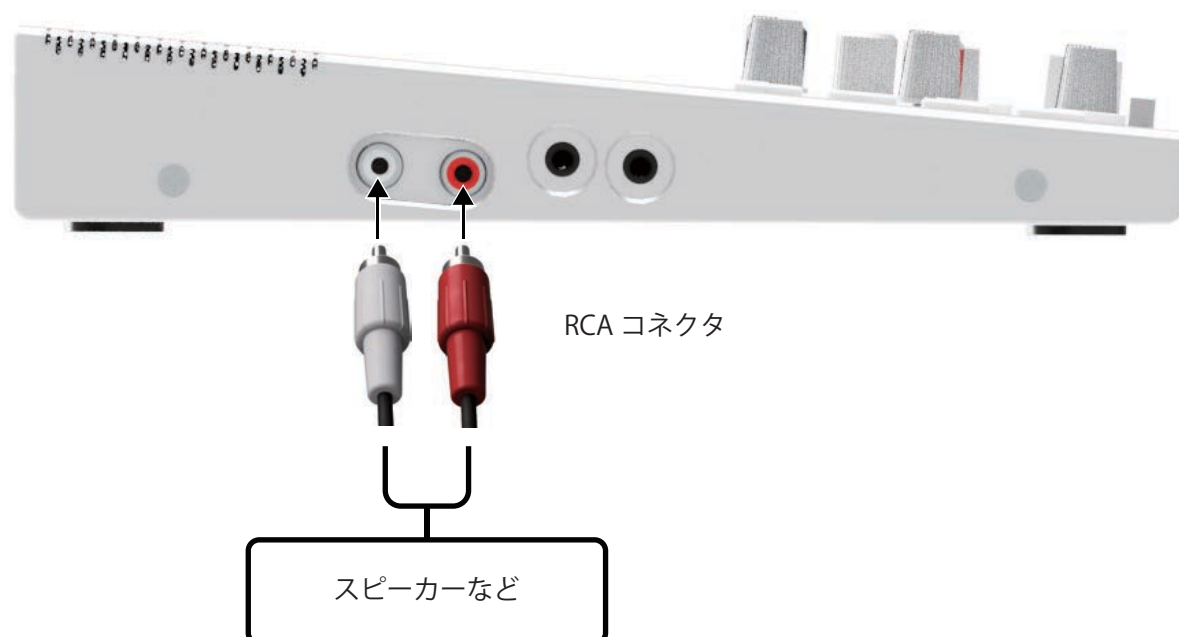
本体前面部接続例



* 使用する出力の種類に応じて、本体メニューより Headphones / LINE を切り替えてご使用ください。

* FW ver.0.2.4 時点では、ヘッドフォン出力のみ対応しています。

本体左側面部接続例



USB メディアの準備と音楽ファイルの保存

ご利用いただけるフォーマット

ファイルシステム

FAT32 / exFAT

パーティションスタイル

MBR / GPT *

* FW ver.0.2.4 時点では、一部環境で GPT 形式の USB フラッシュドライブのファイルが正しく表示されないことがあります。その場合は MBR 形式でフォーマットしてご使用ください。MBR 形式は仕様上 最大 2TB までのメディアに対応します。

ご利用いただける音楽ファイル形式 *

MP3

8kHz ~ 48kHz / 最大320kbps

AIFF

非圧縮 / 8kHz ~ 192kHz / 8 ~ 24bit

WAV

非圧縮 / 8kHz ~ 192kHz / 8 ~ 24bit

* WMA形式は非対応です。また、隠しファイル(.で始まるファイル)や、著作権保護されたファイルは認識されません。上記以外にも一部の一般的な音楽ファイル形式に対応しています。

音楽ファイルの制限

1ファイルの最大再生時間 *¹

20分

1フォルダ内で認識できる最大ファイル数

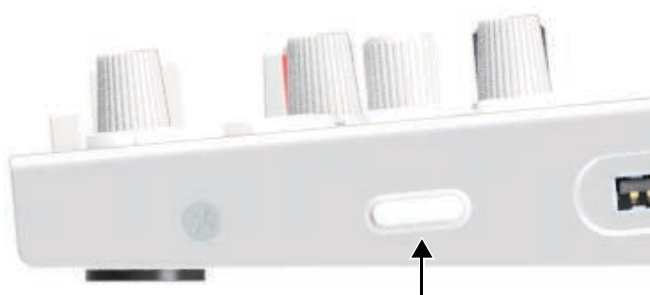
1024個

* FW ver.0.2.4 時点での1ファイルあたりの最大再生時間になります。

USBフラッシュドライブ準備の流れ

1. PCにUSBフラッシュドライブを接続します。
2. パーティションスタイルを MBR形式 に設定します。
3. USBフラッシュドライブを FAT32 または exFAT でフォーマットします。
4. 保存したい音楽ファイル (MP3、WAV、AIFF など) をUSBフラッシュドライブにコピーします。
5. USBフラッシュドライブを本機に接続し、Fileメニューから選択して再生します。

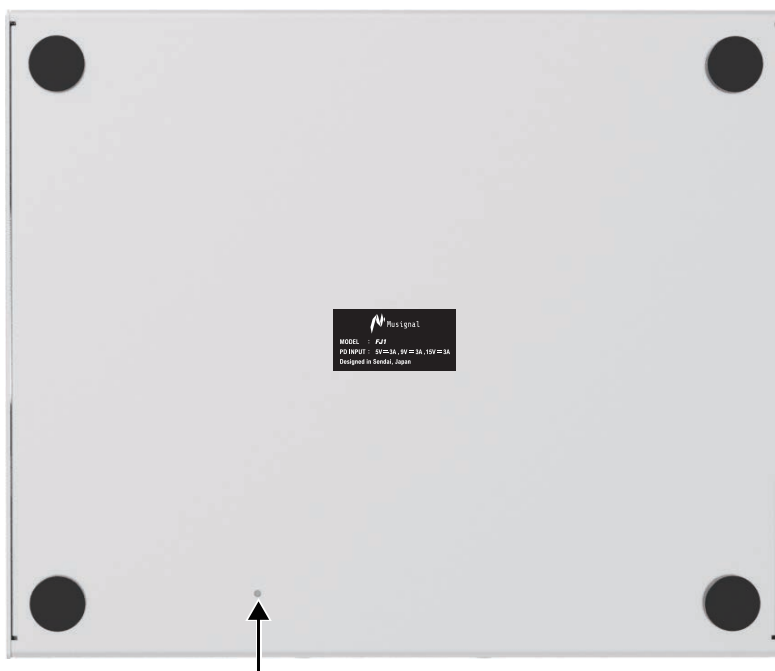
電源操作



電源ボタン（本体右側面部）

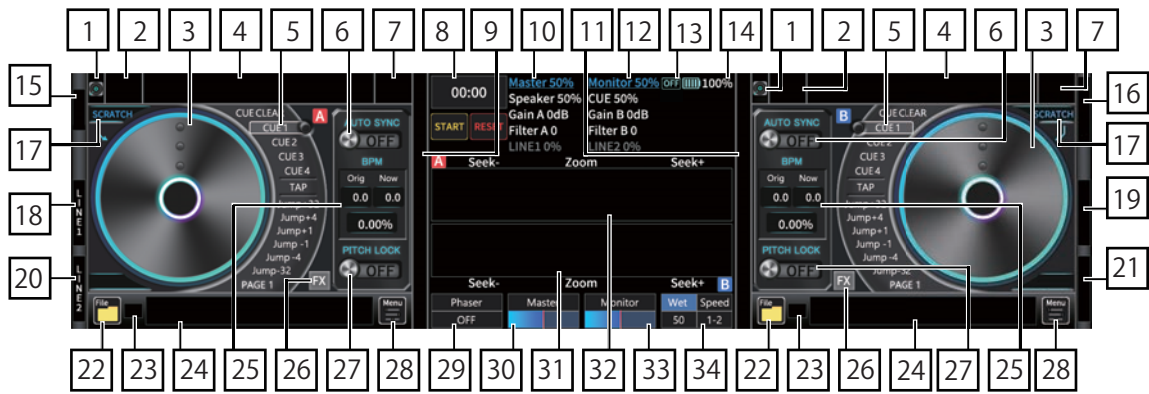
操作	動作
長押し	電源ON / 電源OFF
短押し	画面スリープ

リセット操作



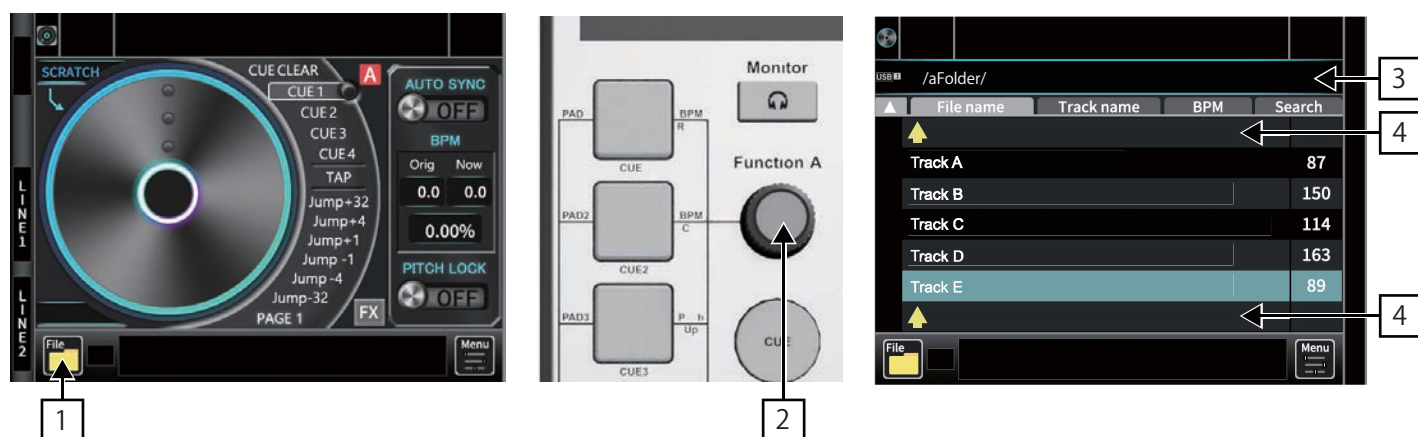
本機が正常に動作しない場合は、本体底面のリセットボタンを細い棒状のもので押してください。自動的に再起動し、復帰後はアップデート画面が表示されます。

タッチパネルを操作する



- 1 ホームボタン**
→ タッチするとターンテーブル画面に戻ります。
- 2 再生経過時間表示**
→ 再生選択中の楽曲の再生経過時間を表示します。
- 3 デジタルターンテーブル**
→ タッチでターンテーブルのように操作できます。
- 4 全体波形表示**
→ 再生選択中の楽曲の全体波形を表示します。
- 5 アークセレクト**
→ 再生選択中の楽曲をコントロールするのに使用します。
- 6 AUTO SYNCボタン**
→ ON にすると、もう一方の楽曲の BPM とビート位置に自動で同期します。
- 7 再生残り時間表示**
→ 再生選択中の再生残り時間を表示します。
- 8 タイマーボタン**
→ Start で開始、Pause で一時停止、Reset でリセットできます。
- 9 Aデッキチャンネルレベルインジケータ**
→ チャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。
- 10 ボリュームノブ1**
→ Master / Speaker / Gain A / Filter A / LINE1 の出力を切り替えて調整できます。
- 11 Bデッキチャンネルレベルインジケータ**
→ チャンネルフェーダー通過前の音声レベルを表示します。
- 12 ボリュームノブ2**
→ Monitor / CUE / Gain B / Filter B / LINE2 の出力を切り替えて調整できます。
- 13 AUTO DJアイコン**
→ AUTO DJ が ON のとき点灯、OFF のとき消灯します。
- 14 バッテリー表示**
→ バッテリーの残量を表示します。
- 15 マスターレベルインジケータ**
→ マスター出力の音声レベルを表示します。
- 16 バッテリーインプット表示**
→ インプットされているバッテリーのボルトを表示します。
- 17 デジタルターンテーブルモード表示**
→ デジタルターンテーブルの現在のモードを表示します。
- 18 LINE / MIC 入力端子 1 表示**
→ 設定した対応する LINE / MIC 入力端子が表示されます。
- 19 USB フラッシュドライブ1読み込み表示**
→ 本機に USB フラッシュドライブが接続されると表示されます。
- 20 LINE / MIC入力端子2表示**
→ 設定した対応する LINE / MIC 入力端子が表示されます。
- 21 USB フラッシュドライブ2読み込み表示**
→ 本機に USB フラッシュドライブが接続されると表示されます。
- 22 ファイルボタン**
→ USB フラッシュドライブ内のファイルにアクセスします。
- 23 格納ストレージ表示**
→ 再生選択中ファイルの格納ストレージが表示されます。
- 24 曲名 / アーティスト名表示**
→ 曲名とアーティスト名が表示されます。
- 25 BPM情報表示**
→ 再生選択中の楽曲の BPM 情報が表示されます。
- 26 FXボタン**
→ ON にしたデッキは FX が適用できるようになります。
- 27 PITCH LOCK**
→ ON にすると PITCH 変更時に楽曲のキーが変更されません。
- 28 メニューボタン**
→ メニューを表示します。
- 29 FX1コントロールボタン**
→ FX コントロールに使用します。
- 30 VOL1表示**
→ VOL1 に選択されているボリューム表示します。
- 31 Bデッキ拡大波形表示**
→ B デッキの拡大波形を表示します。
- 32 Aデッキ拡大波形表示**
→ A デッキの拡大波形を表示します。
- 33 VOL2表示**
→ VOL2 に選択されているボリューム表示します。
- 34 FX2コントロールボタン**
→ FX コントロールに使用します。

ファイルを選択する



デッキAにファイルをロードするには

1. ファイルボタン **1** をタップします。
2. ファンクションノブ A **2** を回して目的の楽曲を選択し、ノブを押し込んで決定します。
3. 現在のフォルダ階層が **3** に表示されます。
4. ひとつ前のフォルダに戻る場合は 矢印 **4** を選択しファンクションノブ A を押し込んでしてください。
5. 目的の楽曲を選んでファンクションノブ A を押し込むと、デッキ A にロードされます。

ボリュームを変更する



Master 50%	Monitor 50%
Speaker 50%	CUE 50%
Gain A 0dB	Gain B 0dB
Filter A 0	Filter B 0
LINE1 0%	LINE2 0%

Seek-	Zoom		Seek+	B
Phaser	Master	Monitor	Wet	Speed
OFF			50	1-2

VOLノブ割り当て切り替え

- VOL1をクリックすると、割り当てが順に切り替わります。

Master → Speaker → GainA → FilterA → Line1

- VOL2をクリックすると、割り当てが順に切り替わります。

Monitor → CUE → GainB → FilterB → Line2

現在割り当てられている項目は、各ノブ上の画面に表示されます。

Master

RCAに出力されるマスター出力音声のレベルを調整します。

Speaker

本機内蔵スピーカーに出力される音声レベルを調整します。

GainA

チャンネルフェーダーAに出力される音声レベルを調整します。

FilterA

デッキAにFXのFilterをかけます。

LINE1

LINE1から入力される音声レベルを調整します。

Monitor

ヘッドフォンに出力される音量レベルを調整します。

CUE

ヘッドフォンにモニターされる音声を調整します。*

* CUE を 100%にするとモニター音声のみ出力されます。

* CUE を 0%にするとマスター音声のみ出力されます。

GainB

チャンネルフェーダーBに出力される音声レベルを調整します。

FilterB

デッキAにFXのFilterをかけます。

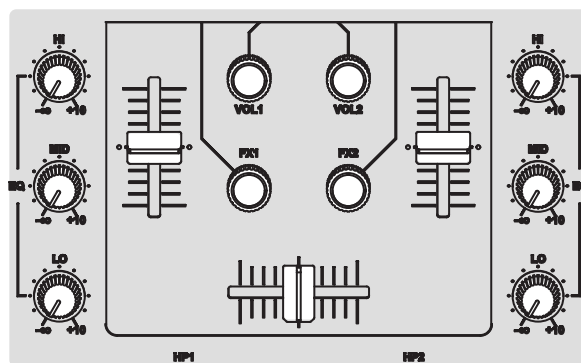
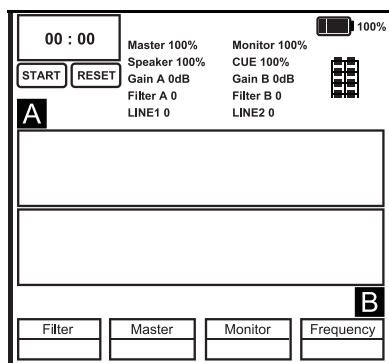
LINE2

LINE2から入力される音声レベルを調整します。

GODJレガシーモード

FX1の回転で制御するエフェクトを選択できます。
ノブを押し込むとエフェクトのON/OFFを切り替えられます。

FX2の回転でレベル (Wet) を調整できます。
ノブの押し込み回転でレンジ (Beat) を調整できます。



サンプラー

チャンネルフェーダーおよび、クロスフェーダーの影響を受けます。

USBメモリの /pads/ フォルダ内に、48kHz、16-bit、ステレオWAV形式の音源を保存すると認識されます。
再生可能な音源の最長時間は60秒です。

フォルダはアルファベット順でデッキA / デッキBに割り当てられます。

1フォルダあたり最大4ファイルを認識します。

タッチ操作の挙動

- 500ms以下のタッチ → ドローン
- 500ms以上のタッチ → ワンショット (ワンショット再生中にタッチすると停止)

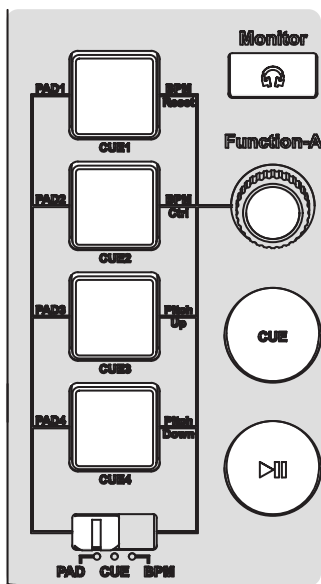
フォルダ構成とデッキ割り当て

pads フォルダ直下に任意の名前のフォルダを作成してください。

フォルダ名は自由ですが、アルファベット順で並び、最初のフォルダがデッキA、次のフォルダがデッキBに割り当てられます。

フォルダ作成例

1. USBメモリをPCに接続し、ルートディレクトリ直下に pads フォルダを新規作成します。
2. その中に、デッキごとのフォルダを作成します。
3. 作成したフォルダに、48kHz / 16-bit / ステレオWAV形式 の音源ファイルを配置します。



- 例
- /pads/padA/01.wav → デッキA 側 PAD1
 - /pads/padA/02.wav → デッキA 側 PAD2
 - /pads/padB/01.wav → デッキB 側 PAD1